令和8年度新入生保護者　各位

名古屋大学

全学同窓会活動協力金へのご支援のお願い



名古屋大学入学おめでとうございます。名古屋大学全学同窓会（会長：柴田昌治）から、お祝い申し上げます。

名古屋大学全学同窓会（NUAL）は、名古屋大学と社会を結ぶ必須の組織として平成14年10月に設立され、名古屋大学の発展と社会への貢献を図るとともに、会員相互の交流、親睦等を目的として活動しており、令和7年秋に設立23年を迎えました。

本会は、名古屋大学の卒業生、修了生だけでなく現旧教職員を含む名古屋大学関係者すべてを構成員としており、これまでに国内5支部（関東、遠州会、関西、岐阜、東三河）、海外18支部（韓国、バングラデシュ、上海、タイ、北京、ベトナム、カンボジア、モンゴル、ウズベキスタン、台湾、ラオス、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、マレーシア、米国、シンガポール、エジプト）を設立し、学部を越えた横断的な同窓会活動ができる基盤を形成してまいりました。

また、大学支援事業として、部活等の学生活動や就職活動の支援、社会人との対話による就職支援のための寄附講義「キャリア形成論」支援など、在学生支援を視野に入れた活動にも力を注いでおります。

これらの活動は、卒業生等を中心とした会員からの支援会費、寄附金ならびに活動協力金に支えられており、保護者の皆様には、入学の際に活動協力金へのご支援をお願いしております。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月

名古屋大学全学同窓会

活動協力金

一　口　10,000円

（複数口お願いできれば幸いです）

支援方法

決済フォームにて、お名前、ご連絡先等を全学同窓会事務局にお知らせください。
確認後、決済専用ページの URL をメールにてお送りいたしますので、専用ページにてクレジット決済をお願いいたします。
※詳細につきましては、4ページをご確認ください。

役　員　名　簿

令和8年2月1日現在

会　長

柴田　昌治	日本ガイシ(株)　特別顧問	法	s34

副 会 長

齋藤　英彦	(独)国立病院機構 名古屋医療センター　名誉院長	医	s38
榊原　定征	関西電力(株)　取締役会長 東レ(株)　社友　元社長･会長 (一社)日本経済団体連合会　名誉会長	工	s40
宮池　克人	中部電力(株)　特別嘱託	工	s44
内山田竹志	トヨタ自動車(株)　相談役	工	s44
中村　利雄	(公財)全国中小企業振興機関協会　会長	法	s45
伊藤　義人	(公財)名古屋産業科学研究所　上席研究員 名古屋大学　名誉教授 岐阜工業高等専門学校　名誉教授	工	s50
村瀬　幸雄	(株)十六フィナンシャルグループ (株)十六銀行 代表取締役会長	法	s54
西村今日子	森松工業(株)　監査役	文	s61

顧　問

岡田　邦彦	J.フロントリテイリング(株) 特別顧問	経	s33
平野　眞一	上海交通大学　講席教授･ 平野材料創新研究所長 第12代総長	工	s40
濵口　道成	(国研)日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター長 (国研)科学技術振興機構　顧問 第13代総長	医	s50

監　事

木下　芳宣	木下法律事務所　弁護士	法	s57
笠松　佑亮	税理士法人笠松･植松&パートナーズ 副所長	経	h20

代表幹事

木村　彰吾	副総長	経	s60

評 議 員

松尾　清一　東海国立大学機構　機構長	加納　白一　経済学部キタン会副会長	吉田　康　(株)ブルボン　代表取締役会長
杉山　直　総長	北　栄輔　情報学研究科長	島田　弦　国際開発研究科長
佐久間淳一　副総長	落合　洋文　名古屋文理大学大学院 健康情報学研究科　教授･研究科長	山本　恵子　ジャーナリスト
星野　幸代　人文学研究科長	田中健太郎　理学研究科長	大平　徹　多元数理科学研究科長
和田　壽弘　名古屋大学　名誉教授 全学同窓会　前代表幹事･元顧問	野依　良治　名古屋大学　特別教授	谷川　寛樹　環境学研究科長
小坂　光一　名古屋大学　名誉教授	勝野　雅央　医学系研究科長	服部　滋　(資)三共建築設計事務所　所長
高井　次郎　教育発達科学研究科長	丸山　彰一　医学部附属病院長	山本　芳彦　創薬科学研究科長
須賀　藤隆　名古屋外国語大学　名誉教授	太田　宏　前医学部学友会　名古屋支部長	林　良敬　環境医学研究所長
辻村　哲夫　(公財)学習情報研究センター 理事長	石川　哲也　医学部保健学科長	塩川　和夫　宇宙地球環境研究所長
中東　正文　法学研究科長	小橋　眞　工学研究科長	内山　知実　未来材料･システム研究所長
清水　哲太　元トヨタ自動車(株)　副社長	中園　幹生　生命農学研究科長	
清水　克俊　経済学研究科長	山下　興亜　中部大学　名誉学事顧問	

全学同窓会の活動

1　名古屋大学と社会を結ぶ必須の組織として名古屋大学と社会の発展に貢献する。

2　名古屋大学と社会の窓口となり、社会に向けて情報を発信し、情報交換、交流を促進する。

3　教育研究活動への参加や支援を教職員・OB に求め、講演会などの企画行事を行う。

4　研究支援、留学生支援、学生の就職支援などを行う。

5　部局同窓会との連携、支援、懇親会など同窓生の交流を行う。

名古屋大学全学同窓会は、大学や学生の活動を支援しています

平成16年度より、大学や学生の活動支援を目的として、公募型の大学支援事業を実施しています。「活動協力金」は、この大学支援事業にも活かされ、これまで186件の活動を支援しています。最近の支援事業の一部と寄附講義の支援についてご紹介します。

大学支援事業
混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ
「合唱物語」の委嘱初演活動

申請代表者：後藤　駿介
（文学部・人文学科・英語学専攻　3年
（行事開催時、同学部同学科4年。現在、同学部学科卒業。））

混声合唱団名古屋大学コール・グランツェは、1977年に創立され、現在では団員数100名以上を有する中部地方最大規模の大学合唱団です。全日本合唱コンクールへの出場に加え、近年では定期演奏会にて「合唱物語」形式の作品を委嘱初演する活動にも力を入れています。「合唱物語」は、曲間にナレーションや台詞が入り、曲中には振り付けが入ることで、ストーリー仕立てで演奏されることが特徴で、演劇と合唱の中間に位置するような作品といえます。

2025年2月22日に東海市芸術劇場大ホールにて実施した第47回定期演奏会では、作詩・構成をみなづきみのり先生、作曲を土田豊貴先生に依頼し「合唱物語『君のフットボール』」を委嘱初演いたしました。本作は、全9曲とナレーション、台詞から構成される約50分の作品です。演奏会には本学の学生や同窓生を含む約900名のお客様にご来場いただき、またライブ配信やアーカイブ配信も多数の方々にご視聴いただきました。

本作の制作ならびに初演は、全学同窓会からのご支援があったからこそ実現できたものです。また、支援金を委嘱料に充てることで、練習会場費や、照明や会場の利用に関連する費用の負担を軽減することができ、より充実した練習を行うことができました。

混声合唱団名古屋大学コール・グランツェは活動の柱の一つである「常にチャレンジャーとして新しいことをしていく合唱団へ」を引き継いでいき、名古屋大学、愛知県、中部地方、そして日本全国の合唱界を盛り上げていけるよう、日々の活動にいっそう励んでまいります。改めて、名古屋大学全学同窓会支援事業として、本演奏会へのご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。



混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ　第47回定期演奏会

寄附講義『キャリア形成論』

名古屋大学全学同窓会では、平成16年度より全学教養科目（2単位）として、『キャリア形成論』の開講を支援しています。本講義は、資金援助による支援だけではなく、様々な個性と経歴を持った名大 OB ／ OG が、自ら教壇に立ち、様々な可能性を秘めた後輩のキャリア形成を直接支援しています。在学生が、身内として安心して話を聞け、また全学同窓会みずからも、在学生と直接交流でき、それが更に在学生のキャリア支援につながっています。名古屋大学 WEB ページにも掲載されました。

https://note.com/nagoyauniversity/n/nd781d2b0be2f

[講義テーマの一例]

・「卒業後の魅力的な選択肢～スタートアップ？大企業」
・「海外留学（海外体験）のススメ」
・「博士の新たな可能性－分野、職種を超えた仕事への挑戦」
・「大学で身につけた技術をスタートアップで活かす」
・「100年時代を生き抜くキャリア形成」

[受講生からの感想]

・今までですごい人や偉い人の講演会となると、その人の偉大さを知るだけで終わってしまっていたが、この講義に限ってはそれだけでなく自分の場合どうするかということをグループディスカッションや質問、感想を通じて考える機会を与えられていたという点で、今後の自分のキャリア形成にとって意味のある時間になった。
・自分から行動する人は、学べることや成長の速度が全く違うことにも気づいた。積極的な行動が、より多くのチャンスを引き寄せられることを再認識した。
・毎回知らない人とのグループディスカッションで議論の進め方やほかの人の多様な意見を学べ、また大勢の人の前で質問する時間が設けられることで、人の前で物おじせず話す力や聞きたいことを端的に質問する力を養うことができました。考え方の面だけでなく、直接的な自身のスキルアップに繋がったと実感できる講義は少ないため、とてもいい講義を受講させていただいたと感謝の気持ちでいっぱいです。

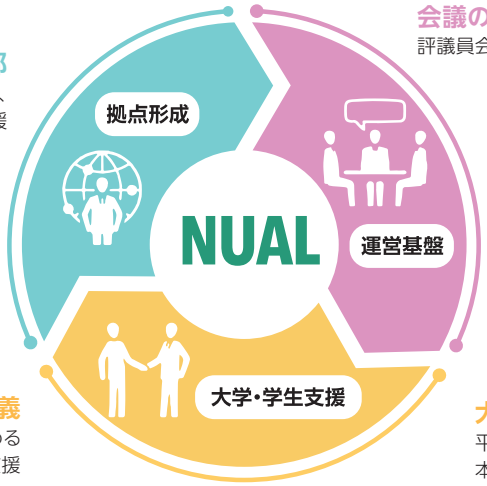

キャリア形成論　講義の様子

国内支部総会について

名古屋大学全学同窓会では、各国内支部（関東、遠州会、関西、岐阜、東三河）において、年に1回総会を開催しています。在学生の皆様は準会員としてご参加いただくことができ、各地域の同窓会役員や卒業生との交流・ネットワーク作りの機会となります。ぜひお気軽にご参加ください！


東三河支部設立総会の集合写真

名古屋大学全学同窓会は、卒業生や修了生のみではなく、名古屋大学の教職員及び教職員であった方など、すべての関係者を構成員とし、部局を越えた横断的な活動をする新しいタイプの同窓会です。在校生は準会員で、卒業後に会員となります。全学同窓会では、多彩な活動・大学支援に取り組んでいます。



国内支部
国内支部（5支部）の連携、総会、講演会等の支援

海外支部
海外支部（18支部）との連携・支援、新たな海外支部の設立検討

寄附講義
平成18年度から卒業生が講師を務める全学教養科目「キャリア形成論」を支援

ホームカミングデイ
ホームカミングデイの共催、支援

名古屋大学基金
名古屋大学基金への寄附

会議の開催
評議員会、幹事会等の開催

同窓会カード事業
同窓会カードの普及、カード優待店舗の開拓

講演会・夕食会の実施
平成26年度から学士会と共催で年1回講演会を開催

広報活動
年2回Newsletterを発行

大学支援事業
平成16年度から、学生活動支援、就職支援事業、本部・部局行事等の支援として年2回実施

活動協力金支援方法

活動協力金　一口　**10,000**円
クレジットカード決済となります。
1）決済フォーム（https://forms.gle/esn2UxcFcc3Z9xsm7）にて、
　お名前、ご連絡先等を全学同窓会事務局にお知らせください。
2）決済専用ページの URL をメールにてお送りいたします。
3）専用ページにてクレジット決済をお願いいたします。
対応：Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover

決済フォームはこちら

今治タオルハンカチプレゼント

プレゼント期間 4月30日まで

2026年4月30日までに活動協力金をご支援いただいた保護者様へ一口（10,000円）につき1枚、オリジナルのタオルハンカチをプレゼントいたします。
※発送は、5月中旬以降を予定しています。



NUAL NUAL NUAL
全学同窓会 Web サイトはこちら

《お問い合わせは下記まで》
名古屋大学全学同窓会事務局
TEL：052-783-1920　FAX：052-747-6383
E-mail：nual-jimu@t.mail.nagoya-u.ac.jp